

はばたき

2019. No. 89

迎 春





新春のご挨拶

理事長 中原 強

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、平素から大久保学園の事業運営に對しまして、ご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げます。本年におきましても引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

また、今年は新しい時代の幕開けの年、脈々と引継ぎ守られていくものと、新時代に相応しい発想と挑戦に、多くの職員の力を結集させ前進していきたいと思えます。変革を繰り返しながら現在に至った福祉施策の中で、地域に必要とされる、公益性の高い事業の展開に、役職員が一丸となって取り組んで参る所存です。

昨年は、法人設立後初めて経験する複数事業の同時開始の年でありました。学園とふなばし工房・みらい工芸館、光風みどり園、みどり園、

代宿地域支援センターと既に実施している事業に加えて、市川市からの民間移譲による梨香園の新規開設を致しました。四月から二か月間は旧建物で業務を開始し、六月から民設による新築建物で定員増と単独短期棟を新たに設け、職員三十二名を配置しオープンいたしました。船橋市と隣接していることから市川地区においても法人一体となった取り組みが展開できるものと確信しているところ

です。これまでの半年間で、利用者の方々の皆様をはじめ、保護者関係者の方々からも期待と一定の評価も頂戴しておりますことは、本当に安堵しているものでありますが、これも職員各位の努力の賜物であると考えます。

その他の整備としては、学園から三キロほどの豊富地区に単独短期棟十五床、グループホーム一棟を新規開設、代宿地区に定員増と併せてグ

ループホーム一棟、単独短期棟五床の新設、これらによって法人が営む事業所エリヤ全てにグループホームと短期入所受入れが可能となりました。喫緊の課題である居住系の整備、所謂必要な時に利用できる、住まいの受け入れ拡大により、地域ニーズに速やかに対応できる設備が整って参りました。

今までも増して複雑になる業務に對して、職員の研修と育成にも全力で取り組んで参りました。人材の確保に困難を極めている今日、昨年五月以降既に一三名を採用し、本年四月には二三名の採用職員が内定し

ており、本当によくこれだけの職員の採用にこぎつけたものと胸をなでおろしているところです。この大切な人材を、誇りをもって仕事に打ち込むことのできる職員へと育成し、質の高い福祉の実践に進めていきたいと思えます。

さて、現在建設中である豊富地区に、介護事業所(四一名を予定)、グループホーム一棟も、来年度の開設に向けて着々と進んでいるところ

です。船橋市が整備計画している地域生活支援拠点事業の役割も見据えながら、今後具体的準備に入ります。これは、地域生活を支えていく重要な位置づけとして、国が全国の市町村で設置することとした事業であり、船橋市で大きな課題となっている緊急短期入所の受入れに對し、法人としてもより一層の強化に向け力を注ぎたいと考えているものです。

この数年間で法人の事業も大きな変革を遂げて参りました。信頼と期待、そして使命と役割を果たしていく法人を目指し新年をスタートしたいと思えます。

どうぞ引き続きご指導を戴きますようお願いを申し上げます、二〇一九年新年のご挨拶とさせていただきます。



大久保学園を20年支えた職員 ありがとうございます

俺の足跡

ふなばし工房 係長
竹内 憲一



平成9年5月1日に入社。気が付けば20年という歳月が経過した。思い起こせば20年前大

久保学園に見学に来た際、福祉の仕事の理解もなく、正直なところ何となく入職した感がある。配属になった入所施設の2年間はそれなりに頑張っていたように記憶しているが、仕事を楽しんでいる自信はなかった。3年目に現在のふなばし工房への異動となり農園芸班への配属となる。それまで長靴も履いたことなかった人間に野菜が作れるわけはなく、異動当時は悲観的になっていた。法人内でも特に利用者が働くことに重きを置くふなばし工房という事業所への理解も乏しく、ただ前例に従い作業活動を行っていた。

しかし、先輩に言われた「やるからには一番を目指せ」という言葉に踊らされ、勉強嫌いの自分が我ながら感心したほど農業を勉強した。そして農機具を購入していただき、畑を拡張し、利用者の技術も向上し、品質も安定し、売り上げも上がり、楽しさは倍増していった。まさに正のスパイラルといった状況が継続していた。20年間の大半を農園芸班

の中で全力で過ごし、以前から日本の農業での取り組みである食料自給率40%を常に安定させることに貢献出来る様に、耕作放棄地を活用し、利用者と汗をかきながら誤魔化しのきかないおいしさと消費者から求められるものを作ることに取り組んできた。今話題の「農福連携」の取り組みであると自負している。結果多くの方々からふなばし工房農園芸班という活動に評価を頂き、職員、利用者共に大きな励みとなった。

仕事はつらかったり、面倒臭かったり、思うようにいかなかったりすることもありますが、自分で決めた仕事、職場である。100%の満足はあり得ないが、とにかく一生懸命に、そして楽しく従事したい。その結果は利用者のやりがいや満足、笑顔になるのである。

まだまだ未熟ではあるものの、年だけはとっていく。昔の自分を思い返すと、今の若い人はとてもしっかりしているし、頑張っている。時折若い人に偉そうに注意をしている自分を客観的に思うと、人のことをとやかく言える人間ではないのにと、逆に自分の未熟さを痛感することがある。

多くの皆様に支えられ今日に至る。そしてこれからも多くの皆様に指導頂き、迷惑を掛けながらみんな楽しく頂点を目指していければ良いなと考える。これからも宜しくお願い致します。

勤続年数20年職員

竹内 憲一 柳原 聡
伊藤 祐 大久保貴弘

大久保学園防災対策について

大久保学園 防火管理者
永坂 剛毅



今年も7月に中国地方・広島を中心とした豪雨被害、9月には台風21号による西日本を中心とした被害、同9月にも北海道胆振東部地域を襲った地震といった各地で地震や台風等の自然災害が発生しました。その中、首都直下型や南海トラフと言った大型の地震が30年以内に70%の確率で発生すると言われています。この様な災害に備え、大久保学園がどのような取り組みを行っているかお伝え致します。

まず、消防設備業者による年2回の消防設備点検。これは既存の防災設備が非常時に正常に稼働するか点検を行います。次に、所轄の消防署隊員による年1回の立入り検査。これは利用者が使用しているカーテンや絨毯等、身の回りの物に防火性能が備わっている物か、棟内に消火器を既定の本数を配置しているか等、大久保学園が消防法に則した防災への取り組みを行っているかの検査を行います。それに加え、災害対策だけでなく消防隊からの消火訓練や心肺蘇生法、AEDの使用方法的のレクチャーを受けるといった取組みも行っております。



初期消火

更に直接、利用者や職員が関わる取組みとして毎月避難訓練を実施しています。訓練の内容は早朝や夜間といった、職員数が限られた時間帯の避難。日中の時間帯は地震発生から火災に繋がった際の避難です。地震発生から職員は避難口の確保、建物内外で火災が発生していないかの確認、初期消火、避難の誘導を行います。利用者は職員の声掛け、促しにより最善の経路を通り、避難する訓練を行っています。今後はより実態に近いシチュエーションに訓練内容を近づけ、近い将来起こるとされている大災害に備えていきたいと考えています。

いざ災害に見舞われた際、ライフラインが不通となる事が想定されます。災害時は一般的に凡そ3日間の備蓄食が必要とされていますが、有事に備え大久保学園では利用者1人当たり1日3リットルの水、3日以上以上の食糧が備えてあります。しかし、今の状態が万全とは言えないかもしれません。日々の設備点検、避難訓練、災害時備蓄食の確保。常に万全の状態を維持、管理していく事、職員はより高い防災意識を持ち、利用者の方々の安全を最優先に行動出来る事を目標に今後も取り組んで参ります。



避難の様子

行事予定

全体行事

- 1/4 仕事始め
2/23~24 作品展示会
3/21 法人会議

大久保学園

- 1/15 成人を祝う会
1/20 ゆうあいびつ駅伝大会
1/29~30 健康診断
3/24 さくらマラソン
4月 お花見会

ふなばし工房

- 1/15 成人を祝う会
1/21~25 市役所販売
2/10 三咲子供祭り
3/4~8 市役所販売

光風みどり園

- 1月 成人・還暦を祝う会
2月 新年保護者会
3月 総合防災訓練
4月 血液検査
5月 保護者会総会
6月 園庭食事会
7月 保護者会
8月 定期健康診断
9月 避難・消火訓練
10月 春風祭

みどり園

- 3/23 保護者会

代宿地域支援センター

- 1/18 代宿地域の新年会
2/2 地域との交流会
3/2 家族懇談会
4/1 新規グループホーム開設
5/11 家族懇談会

梨香園

- 1月 新年会・成人を祝う会
2月 健康診断
お別れ会
個人面談
防災訓練

成人
おめでとう
ございます

寄付金

平成三十年九月一日
平成三十年十二月十日

〔後援会〕

板橋いとし・井上正記・根本三夫・(株)エイシオ・石塚 宏・板垣 勇
トワシ 親光・(株)藤崎 美・桐山 昇・山崎 孝・(株)伊賀屋 廣瀬 平一郎
鈴木キヨ・森野愛子・岸 勝弘・菅谷くに江・石塚 渡・森谷寛治
長田全弘・関口多比子・梅津正信・御給和弘・中久志・宮平由美子
来栖 修・高安裕子・佐々木 林・静子・大河原敏夫・加増行・島弘文
平塚芳昭・平 敏行・小松茂利・並木信子・岩崎 一・中島たけ・坪内宣昭
金成幸一・竹原カエ・岡田敬司・津浦邦次・高橋 實・吉田幸男・清田久子
奥村 博・川上久雄・青柳美和子・川瀬育子・佐藤政子・山田リカ
岡野悦子・谷口貞雄・岩間家具・飯塚三郎・青柳貞吉・伊部 利・協栄農資(株)
依知川節子・依知川一・成田 原由子・川尻 儀一・高橋 昭・山路康郎
室井真子・渡邊子・鈴木孝子・鈴木孝子・鈴木孝子・平岡勝彦・萩原幸男
星 欣男・工藤天一・野野芳子・田中長江・橋本 憲一・大木まき江
日下部弘子・大野昭雄・佐伯教理・多賀谷多恵子・村島哲男・松本和子
末延久子・杉本浩司・安田早苗・岩田久子・柳原憲治・平野義久・大延一
遠藤 登・鶴沢美幸子・仙石信夫・長谷部健二・上條茂樹・山崎つた
長浦健一・宮本信隆・サヘヒス 宮本 忠・石井莊也・石井冬子・友菊志
本澤正行・矢口勇雄・糸川 昇・矢作 榮・小淵佳枝・植草 夫・中川聖治
布施義高・布施義成・木原勝美・武正理恵・大塚勝則・矢下春男・徳都史子
林みほ子・初山敏雄・白倉さよ・七海勝則・浅井崇三・針谷喜恵
小野忠志・渡邊 晃・吉内厚子・吉内美保・清水宏美・石川清・鈴木成子
堀内靖夫・中村美智子・飯塚 昇・逆井 保・石川清隆・内田孝子
平山 実・萩原 誓・平田チエ・渋谷京子・陶山 敷・堀島英一・金子澄子
加藤芳治・千葉理子・大川勝幸・本 忠信・近藤裕昭・西井建二・中村迪子
青木常子・平山吉己・小林英三・飯塚 浩之

〔一般〕

北村一義・イトヨーカ堂我孫子店・長田りゅう子・和田浩行

梨香園内覧会

お祝い金品

平成三十年
六月三日

代宿みらい

第二けやき内覧会

お祝い金品

平成三十年
五月十九日

春風祭

お祝い金品

平成三十年五月二十六日

船橋ライオンズクラブ 会長 伊藤博・義一
船橋市陸軍福祉課 課長補佐 阿部健一郎・橋本崇子・平川園
(有)ウインマックス 村石智之他6名 富田・栢野・末延・森・飯塚・斎藤

みどり園祭

お祝い金品

平成三十年
十月二十日

NPO法人 いもむし(株)いちの会・(株)心聖会
(株)野田芽吹会 野田芽吹学園・(株)ひろがり・(株)東進ビルシステム
(株)熊谷組首都圏支店・みどり台自治会・吉田和夫・島田弘弘
関澄節治・鈴木傳雄

大久保学園祭

お祝い金品

平成三十年
十一月三日

(株)神原 代表取締役 神原龍之・(株)グローバル・林園緑地建設(株)
(有)ヒカアイト 日高 貴・北辰文化倶楽部 理事長 広瀬幸吉
両宮育子・矢橋啓郎・青久美子・野尻武生・矢口勇雄・義一
大塚勝則・矢川勝幸・七海勝則・鈴木孝子・本澤正行・内田孝子・初山敏雄
白倉さよ・松田久子・奥村 博・大久保学園保護者会 田中みづ
佐伯教理・石川 清・電通システム販売(株)・(株)船橋住宅エージェン
馬淵建設(株)・旭建設(株)・代表取締役 高橋昌宏・旭建設(株) 山崎 諭
(株)田辺工務店 代表取締役 田辺哲也・佐知川一成・(有)ウインマックス
金堀町会 飯島 勇・豊地区社会福祉協議会 会長 平川 茂
柴山克己・環原繁雄・会田 誠・会田 操・飯島信・長田全弘
(株)心聖会 理事長 白鳥征四朗(株)いちの会 理事長 児嶋政明
(株)千葉県社会福祉協議会 誠光園・NPO法人 いもむし 吉田 健
(株)啓啓会 理事長 里見吉英・やまぶき園 施設長 三浦 健
(株)東ライオンズクラブ・大河原敏男・吉田隆二・愛甲紀子・磯部麗子
(敬称略)

ありがとうございます

はばたき 二〇一九 八九号

発行所/平成三十一年一月
発行所/社会福祉法人 大久保学園
TEL 〇四七(四五七)二四六二
FAX 〇四七(四五七)四〇六九
URL http://www.okuboakuen.or.jp
Mail shienka@okuboakuen.or.jp
編集/大久保学園 広報委員会
表題書/大久保学園理事長 中原 強